

Ⅷ. 令和3年度の決算の概要

令和3年度は、コロナ禍において、先行きを見通すことが困難な時代にある中、行政コストを抑え、計画的で効率の良い財政運営を重視しながら、確かな未来を見据え、本市がより魅力的なまちとなるため、「人が魅かれるまち」の推進を主眼として、「未来を育む人と地域経済の持続的発展」に重点配分した予算を編成し、「人づくりへの投資」として学校給食費の無料化や子育て用品レンタル費用の助成、修学旅行費用の全額助成など子育て世帯の経済的負担軽減を図り、「地場企業の持続と発展」として企業の笑顔応援補助金、地域おこし協力隊による歌志内ワインのPR活動等、「健幸寿命の延伸」として新型コロナウイルスワクチン接種をはじめ、インフルエンザ予防接種全額助成やがん検診・健康診査の完全無料化の継続、高齢者外出支援事業の拡充、家族介護用品支給事業の充実、新生児の聴覚検査無料化などを実施したほか、長寿命化計画に基づく公営住宅や橋りょうの改修工事など、まちづくり事業を着実に推進しました。

1. 決算規模及び収支の状況

一般会計以下4会計における歳入歳出決算の総額は、歳入52億2,333万7千円、歳出48億9,912万6千円で、3億2,421万1千円の黒字となりました。前年度と比較し、歳入で2億444万8千円、3.8%の減、歳出で3億1,304万3千円、6.0%の減となりました。

各会計別の収支は、一般会計で3億2,017万6千円、市営公共下水道特別会計で翌年度繰越明許費の一般財源として、5万2千円の黒字となりました。

また、国民健康保険特別会計で396万6千円、後期高齢者医療特別会計で1万7千円の黒字となりました。

2. 歳入歳出の状況

(1) 一般会計

歳入増となった主な科目は、地方交付税2億2,369万5千円（対前年度比8.7%）、繰越金1,726万8千円（同8.9%）などで前年度を上回りました。

その内訳としては、地方交付税は人口急減補正による地域振興費の増や新たに設けられた地域デジタル社会推進費の増及び臨時経済対策費など国の補正予算等に伴う再算定による普通交付税の増、繰越金は前年度繰越金の増となっています。

一方、歳入減となった主な科目は、国庫支出金4億111万8千円（対前年度比△38.4%）、市債9,867万9千円（同△37.6%）などで前年度を下回りました。

その内訳としては、国庫支出金は特別定額給付金給付事業費補助金の皆減、学校施設環境改善交付金の減、市債は義務教育学校整備事業債の減となっています。

歳出（性質別分析）では、投資的経費が2億8,730万1千円（構成比6.5%）、義務的経費が19億9,063万円（同44.7%）、その他の経費が21億7,441万円（同48.9%）となっています。

前年度との比較では、投資的経費が2億4,529万3千円（対前年度比△46.1%）の減、義務的経費が1,966万7千円（同△1.0%）の減、その他の経費が9,322万7千円（同△4.1%）の減となりました。

投資的経費の減は、義務教育学校整備事業における施設改修費の減によるもので、その他の経費の減は、新型コロナウイルス感染症対策として実施した特別定額給付金や企業応援給付金等の減によるものです。

(2) 特別会計

3会計合わせて歳入総額は4億5,082万円で、前年度と比較して4,418万9千円（対前年度比10.9%）の増で、その主な要因は、市営公共下水道特別会計における社会資本整備総合交付金の増及び国民健康保険特別会計における諸収入の増によるものです。

歳出は、投資的経費が5,441万8千円（対前年度比473.8%）、義務的経費が1億6,249万5千円

(同△14.3%)、その他の経費が2億2,987万2千円(同13.5%)、総額4億4,678万5千円で、前年度と比較して4,514万3千円(同11.2%)となっており、投資的経費が増となった主な要因は、市営公共下水道特別会計における公共下水道建設工事の増、義務的経費の減の主な要因は、市営公共下水道特別会計における公債費の減、その他経費の増の主な要因は、国民健康保険特別会計における電算システム改修委託料及び北海道国民健康保健団体連合会負担金の増によるものです。

3. 財政構造(普通会計ベース)

指数面では、財政の弾力性を測定する経常収支比率は89.7%(前年度91.4%)、財政力の強弱を示す財政力指数は0.107(同0.110)、公債費比率は7.2%(同4.4%)です。

また、地方債の元利償還金に加え、下水道等の公営企業が支払う元利償還金への一般会計繰出金などを含めて算出した実質公債費比率は9.5%(同11.2%)です。

4. 投資的事業(1件1,000万円以上)

定住促進事業(住宅建設等奨励金)、デイサービスセンター屋上改修、誘致企業向け住宅屋根・外壁改修、観光施設活性化推進(チロルの湯改修)、宮下橋補修、改良住宅解体除却、ボイラー取替、市営住宅屋上防水・外壁塗装、歌志内学園施設改修

